

全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2018年 3月

所属 & 学年 | 農学部 2年生

科目名	東アジアにおける文化・海外研修
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2018年2月19日～3月2日

1. 履修のきっかけや動機

韓国に関して、韓国料理やドラマ、k-pop等は日本でも関心が高く、とても身近に感じる国だと思います。そのため、私も自然と関心を持つようになりました。また、中高の歴史の教科書では日本と韓国の関わりの一部しか知ることができなかったことから読み始めた韓国の歴史の資料集をきっかけに、欧米とも日本とも異なる韓国の遺跡の様子や歴史上の人物の功績に興味を持つようになり、実際にその場所に行って、その迫力を体感したいと思うようになりました。さらに大学でのチュータ活動で韓国人学生を担当する機会があり、食文化や学生生活の違いについて話し合う中で、より一層大学生として同年代の韓国の学生と関わりたいと思うようになり、名大の短期研修を選択しました。

2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

渡航前の授業では、日本文化、韓国史、日韓関係史などをテーマに学習し、その分野を専門にされている人文学研究科の先生から直接お話を聞ける講義もあったので、それぞれの学習テーマへの関心がさらに高まりました。また、現地の大学で行う韓国語でのプレゼンテーションに向けて、準備の段階から細かく指導していただきました。特に、「韓国語のレベルに合わせてプレゼンテーションの内容の質を下げないこと」という指導が最初にあったおかげで、時間を十分に掛け、納得のいくものに仕上げることができたので、プレゼンテーション力はもちろん、言語の習得という点でも力がついたように思います。

日本以外のアジアへの渡航は初めてだったため、研修期間の最初の数日は、見るもの全てに圧倒されていましたが、次第に日本との違いなど、学べる点が増えていきました。

3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

韓国での研修では、韓国語の発音を学ぶ授業と歴史・文化学習があり、現地の学生の方が付いてくださったので、韓国について深く学ぶことができました。大学のある木浦では、日韓関係の歴史に関して主に学習しました。植民地時代の日本と韓国の関係を示す博物館や儒達山からの風景は昔の面影を残しており、それらを視察する中で、韓国人なら誰でも知っている建物も日本人は知らずにいるという認識の違いを感じました。その他に訪れたプヨやソウルでは、それぞれの地域が中心となった時代の文化の違いを直接知ることができました。

生活という面では、食文化が特に印象に残っています。中でも、ホンオという発酵した魚料理をはじめて知り、日本の発酵した食べ物との違いに驚かされました。一方で、その他の食文化や生活に関して、驚かない面もあったことから、メディアや日本で売られている韓国の食料品を通じて、思っていた以上に韓国が身近に感じられているようになっていたのではないかと、考えさせられることもありました。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

渡航前の授業での危機管理ガイダンスや、海外渡航する学生全体向けの海外渡航前安全危機管理オリエンテーションで、渡航のリスクや渡航前準備について話を聞き、安全意識を高めることができました。現地では、自分の手荷物の管理に気を付けるとともに、単独行動は控えるようにしました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	9万円		振込
滞在費(授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費)	12万円	= 1,165,400 ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	8千円	= 77,000 ウォン	現金
各自での交通費	4千円	= 40,000 ウォン	現金
その他(小遣い)	1万4千円	= 143,000 ウォン	現金
計	約24万円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 4万円 = 374,000 ウォン

自由記述欄

↓↓↓

現地の学生の方が、授業後も様々なところへ連れて行ってくださり、約二週間という期間でしたが、韓国の学生文化のようなものも体験することができました。個人での渡航では得られない経験を多くすることができたので、他の学生にもおすすめしたいです。

全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2018年 3月

所属&学年 | 情報学部 1年生

科目名	東アジアにおける文化・海外研修
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2018年2月19日～3月2日

1. 履修のきっかけや動機

学生中に留学を経験したいというのがはじめのきっかけで、まずは説明会へ出向きました。お金があまりなかったため、当初想像していたアメリカやオーストラリアへの留学はあきらめ、金銭的なハードルの低い韓国を選択しました。最初の留学ということもあり、短期である点もメリットとして捉えていました。

2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

学内での授業は主に現地でのプレゼンにむけての準備が主でした。韓国で発表するということを念頭に置いて、どのような発表にすれば伝わるかということについて、基本的なプレゼンの手法から、異文化の配慮なども加えて、とても細かく計画しプレゼンを練りました。その他にも、韓国の文化についての授業や、安全管理の授業を通して、留学に向けて不安の無いように準備を進めていくことが出来ました。

3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

異文化の体験はどれも新鮮でとても良い経験になりました。一番勉強になったのは言語理解です。私は今まで韓国語を学んでいなかったため、最初は読むことすらままならない状態でしたが、毎日看板などのハングル文字を大量に認識し、片言でも韓国語を話す努力をしてみた結果、まだまだ話せるとは言えませんが、簡単な単語を覚え、韓国語への理解が格段に深まりました。プログラム中の語学授業は初学者用のプログラムになっており、無理のないレベルの学習をすることができました。プレゼンも韓国語を選択して発表をしたため、そのための準備段階で原稿を読み、単語の意味を理解し、発音も練習したため、韓国語を0から始めた私にとってはとても大変な勉強でしたが、荒療治的に短期間で密度の濃い学習が出来ました。

生活の中でも学びは多く、そして楽しめました。中でも食文化はとても印象的でした。お皿は持たない、食事を残す文化など、マナーのような要素も肌で感じる事が出来ましたし、本場の韓国料理を味わえたのはとても良い体験でした。私は辛い物が苦手で最初は辛くて美味しく食べることが出来なかったのですが、食事を重ねていく内になれてゆき、韓国料理を堪能できました。

また、木浦大学周辺は学生街が発達しており、授業が終わると毎日のようにカフェに行ったり、カラオケに行ったりと、韓国の大学生が過ごすリアルな学生生活を体験できました。現地では生活をサポートしてくれるトウミという韓国人の学生さんがいて、そのトウミと学生街に繰り出し本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。トウミは日本語がとても上手なため、韓国語初学者の私でも気軽にコミュニケーションが取れました。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

食あたりが怖いと思い、日本で胃薬などを買っていきましたが、終始健康状態を保つことが出来て使いませんでした。学校や旅行会社の全面的なサポート（保険など）があったため、そこまで心配することなく準備をしました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

海外で使用した費用に関しては、記入するほど正確に覚えていませんが、現地で 50,000 円両替して余りました。3, 4 万あれば足りると思います。

自由記述欄

↓↓↓

[後輩に向けて]

韓国へ留学に行く聞いて、韓国なら旅行で行けるとも言えますが、この留学で得るもの、そして韓国の楽しみ方は旅行とは全く異なります。旅行では行くことのない地域に訪れ、現地の韓国人とともに韓国の学生生活を疑似体験する、そんな経験は旅行では確実に出来ません。また、トウミが韓国のちょっとした文化の違いを逐一教えてくれたり、若者の間ではやっている言葉なども知ることが出来たりと、日本で本を読んで学べること以上の経験が出来ることは確かです。

そのため、韓国に留学しても学ぶことがないと思っているなら少し考え直した方が良いです。おそらく留学プログラムの中で最も日本人向けで、優しいプログラムではないかと思います。確かに英語圏ではなく、正直なところ韓国語としても語学留学としての機能は果たさないけど、留学の良さはそれだけではなくて、多文化の理解から日本の文化を見つめ直すことが出来たり、グローバルな視点を身につけることも大きな目的となり得ると思います。

全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2018年 3月

所属&学年 | 医学部 1年生

科目名	東アジアにおける文化・海外研修
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2018年2月19日～3月2日

1. 履修のきっかけや動機

韓国語の授業でチラシを配布され、韓国にもともと興味があったため。

2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

プレゼンテーション資料の正しい作り方や正式なメールの文章の作り方

3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

韓国と日本の違いで、聞いていた話と実際違うことは多くあった。旅行に行くのでは現地の人とあまり関わることは出来ないが、今回の研修では何人かの韓国人と深くかかわることができ、何日間も生活を共にしてこそわかる文化の違いや、逆に似ているところの発見が多くあったと思う。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

携帯と財布は常に身に付けておくように心がけていました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	70000円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	120000円		国立木浦大学校へ支払
各自での食費	7000円	= 70000ウォン	現金 7千円
各自での交通費	3500円	= 35000ウォン	
その他（小遣い）	30000円	= 300000ウォン	現金 3万円
計	23万円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 4万円=40万ウォン

自由記述欄 *後輩へおすすりめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

歴史系の韓国ドラマは見てから行くべき。帰国してから見て、見てから行きたかった！と思いました。行く場所も、人との関りも、留学でしか経験できないことがたくさんありました。

全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2018年 3月

所属 & 学年 | 情報学部 1 年生

科目名	東アジアにおける文化・海外研修
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2018年2月19日～3月2日

1. 履修のきっかけや動機

韓国ドラマを初めとする韓国の文化が大好きで、韓国に行きたいと思っていました。また、前期に韓国の留学生の人と仲良くなり、日韓関係について話す中で自分は韓国についてはおろか日本についても知らないため自分の意見をはっきり示すことが出来ませんでした。韓国の若者がどのように日韓関係について学び、考えているかをもっと知りたい、自分も話したいと思ったことが理由です。

また韓国について良い印象を抱いていない人も周りにいますが、そんな人に直接自分が見て思ったことを根拠に、韓国の良さを伝えることで韓国について認識を少しでも変えて欲しいと思ったからです。韓国語を履修しているため自分の韓国語が通じるのかどうか、韓国語でのプレゼンという機会を通して韓国語の能力を向上させたいというの大きな理由です。

2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

韓国の歴史や文化についての事前授業で日本と韓国の深い繋がりについて改めて学ぶことが出来ました。その上で韓国でも日本との歴史的交流について授業を聞き日韓関係についてさらに興味がわきました。プレゼンテーションを作る過程で、前提に共有する知識や認識が異なるなかでどのように情報を提示すれば韓国の人にも伝わるかということも個人指導の中で教えて頂きました。また、政治や国交だけが日韓関係の全てではなく、文化などの市民同士のレベルでも日韓に変化はあり、大きな影響を与えうることも学びました。また、グローバル人材、海外留学をすることの意義についても事前に授業してもらったので目的を定めて研修を迎えることも出来ました。

韓国での授業では韓国語の発音を丁寧に現地の先生とトウミ（現地の学生）から教えてもらうことによって、今まで曖昧で自信が無かった部分が明確になりました。さらに、どんなことも思いつく度に全て韓国語で表現したいという欲も出てくるようになりました。

3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

想像していたよりも本当に多くの体験をして学ぶことが多かったです。韓国は日本と似ている国と言われているけれど、細かく比較するとやはりそれぞれに違いはあって、その理由を考えたり現地の人とそれについて話してみることがとても興味深かったです。また、それによって日本についても考えるきっかけになり、日本の特徴を発見することが出来ました。

生活はとても快適だったため困ることはほとんどありませんでしたが、現地に行ったら食事や言葉、服装など現地ものを積極的に真似して取り入れることでより感じることも多く楽しめるのだと実感しました。韓国語で話すことも目標だったため、実践してみましたが、思ったよりも通じるし、通じた時の喜びを知って韓国語学習のモチベーションも上がりました。また、通じないときも咄嗟に考えてどう伝えるか工夫することも楽しく、コミュニケーションにおいて大事なことも少し分かった気がします。

2週間韓国に滞在出来たことで旅行とは違う学びがあったと思いますが、もっと韓国について知りたい、また来たいという思いが強まりました。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

ソウルで歩くときは念のためリュックではなくウエストポーチにしましたが、治安は良かったと思います。ただ、私は最終日に体調を崩してしまったため、研修中は元気でなくても休息を大事にすることが必要だと実感しました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	7万円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	12万円	= 190万 ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	5千円	= 5万 ウォン	現金 5千円
各自での交通費	5千円	= 5万 ウォン	
その他（小遣い）	2万円	= 20万ウォン	現金 2万円
計	22万円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 5万円 = 50万ウォン

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

本当に楽しく学ぶことも確実に多い研修だと思うので迷っている人は是非参加してみて欲しいです！

↓↓↓



全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2018年 3月

所属 & 学年 | 医学部 1年生

科目名	東アジアにおける文化・海外研修
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2018年2月19日～3月2日

1. 履修のきっかけや動機

k-popが好きで、韓国に興味があり、いつか行きたいと思っていたところ、朝鮮韓国語の授業でこのプログラムの紹介があり、友達に誘われたことがきっかけです。大学中にいつかは短期で留学に行きたいと思っていたので、ピッタリのプログラムでした。また、このプログラムではプレゼンテーションをするとのことだったので、準備や発表を通して、パワーポイントの作成の仕方やプレゼンテーション能力を向上させたいと思いました。

2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

1. プレゼンテーションについて

パワーポイントを作成するにあたって、見やすいパワーポイントを作るにはどのように修正をしていったら良いかや、聞き手が聞きやすい発表をするにはどうしたら良いかなどを、プレゼンの演習を通して、先生や仲間からアドバイスをを受けたりして学ぶことが出来ました。また、参考文献の載せ方やプレゼンの講評をしていただく際の聞き方など、今まであまり気にして来なかったことを学ぶことができました。

2. 韓国の文化について

授業での韓国史についてはもちろんですが、韓国に実際に行ったことのある先生から、韓国料理についてやマナーについて、また、体験した出来事など、様々な面白いことを話していただき、とても勉強になりました。

3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

1. 韓国語

トウミという学生ボランティアが常に一緒にいてくれるような状態だったので、わからない韓国語や知りたい韓国語があったら、すぐに聞き、勉強していました。彼らは、日本語がペラペラなので日本語で質問しても普通に答えてくれました。また、現地での韓国語の授業でも先生が優しく、楽しく授業をしていただき、日本での朝鮮韓国語の授業では学べない現地ならではのことも学べました。

2. 食文化

韓国の食事には必ずキムチが出てくること、日本は出されたものは残してはいけないが韓国は残しても良いということ、箸は平らで少し長くて金属でできていること、おかずは小鉢のものをみんなで分け合って食べることなど様々な発見ができました。

また、自分の視野を広げることもできて、本当にいい経験ができたと思います。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

忘れ物をしないように確認をしっかりとすることや、パスポート、財布、ケータイなど貴重品の管理には気をつけました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	84,100 円	振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	117,950 円	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	1 万～1 万 5 千 円	
各自での交通費	約 5,000 円	
その他（小遣い）	約 25,000 円	
計	241,500 円	

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 40,000 円 = 374,400 ウォン